公益社団法人 応用物理学会

ダイバーシティ＆インクルージョン（D&I）・国際交流委員会

Diversity & Inclusion ・ International Exchange Committee in the Japan Society of Applied Physics

学会　とは？

大学や会社で研究をしている人たちが、同じ分野ごとに集まって活動しているグループのことです。
研究の成果を発表したり、最新の情報を交換したりする場所で、年に何回か大きな発表会（学会大会）や、若手研究者向けの勉強会なども開かれています。

応用物理学会　とは？

「物理」をベースにしながら、**理学と工学の境界領域をカバーする**研究が多いのが特徴です。
物理の知識を活かして社会に役立つ技術を研究・開発する専門家たちが集まる、**日本最大級の学会**です。

2024年7月の時点で、**約19,100人**の会員がいて、その多くは企業で働く技術者や研究者です。つまり、学校や大学だけでなく、産業界（会社や工場など）とのつながりがとても深い学会です。

一般向け、中高生向けのイベントも開催しています。

物理がどのように未来の社会を形づくっていくのか、興味のある方は、ぜひ応用物理学会の活動をのぞいてみてください。きっと、新しい発見や進路のヒントが見つかるはずです。



応用物理学会 D&I・国際交流委員会　とは？

誰でも専門性を活かして貢献できる社会の構築が目標。

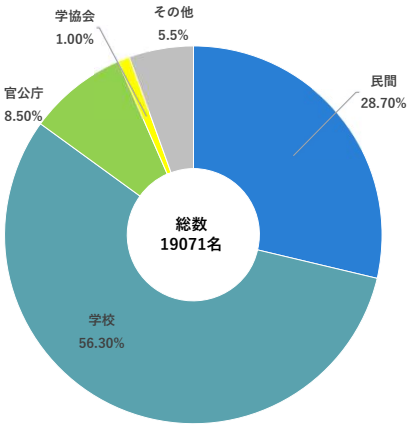
学会員の女性比率は7.4%程度と多くはありませんが、応用物理学会は男女共同参画に熱心に取り組んでいる学会として知られ、多くの女性研究者が活躍しています。

主な活動：

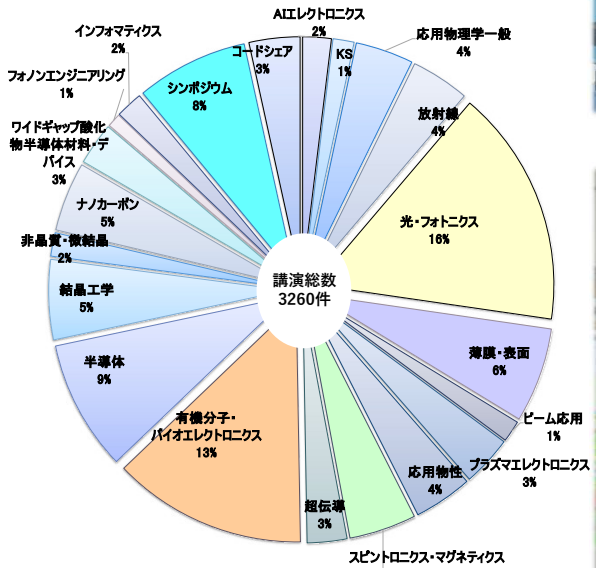
- 応用物理学会 春季学術講演会でのシンポジウム開催
- 国際交流事業、ネットワーキング事業
- 学術講演会での託児室の設置
- 「応用物理学会 D&I賞」　etc



2024春応用物理学会 会員数
2024年7月22日現在



2024春応用物理学会　講演件数





The Japan Society of Applied Physics